



2017 春号

No.228

橋

はし



岐阜県 八百津橋

BRIDGE

平成29年度 医療法人藤井会 入社式 『愛情・信頼・奉仕』の実践へ	法人本部 広報課	02
1人ひとりに生きる喜びを 香芝生喜病院 誕生。	病院長ご挨拶 香芝生喜病院 病院長 臼井 典彦 所属長ご挨拶 定礎式・竣工式・内覧会 開院祝賀パーティー	03~08
院長就任のご挨拶	北河内藤井病院 病院長 川口 雄才	09
	みくりや診療所 院長 福井 寛也	10
香芝生喜病院 リハビリテーション室 4月スタート	香芝生喜病院 リハビリテーション室 室長 望月 弘己	11
藤井会訪問看護ステーション～2周年を迎えて～	藤井会訪問看護ステーション 所長 津野 美千子	12
THE☆がんサポート講座に 石切生喜病院医師2名が講演	法人本部 広報課	13
医療連携フォーラム 第2回 ～透析医療を考える会～ 開催	法人本部 広報課	14
出張講座 開催（松美台自治会館）	法人本部 広報課	15
出張講座 開催（中石切町老人クラブ集会所）	法人本部 広報課	15
2017年 大阪府下救急医療施設 新年会について	石切生喜病院 救急センター長 秋月 克彦	16
地元企業へ 産業医による腰痛予防体操を実施	石切生喜病院 健診課 主任 岡村 亮	16
職種紹介⑪～私たちこんな仕事をしています～ 【医師支援課】	大東中央病院 事務部門 医師支援課 川野 亜紀子	17
薬局通信 ④⑦	石切生喜病院 薬剤室 野口 善久	18
旬の食材 春キャベツ	大東中央病院 栄養管理室 主任 弓場 昌美	19
石切生喜病院ロビーコンサート開催	法人本部 広報課	20
季節を感じるイベント in藤井会リハビリテーション病院	藤井会リハビリテーション病院 介護福祉士 主任 石黒 利枝	20
にこにこ保育園 卒園式	にこにこ保育園 保育士 菱川 ひろみ	21
にこにこ保育園 クリスマス会	にこにこ保育園 保育士 藤原 瞳	21・22
恒例 石切生喜病院 真冬の献血！	法人本部 広報課	22
編集後記		22

藤井会リハビリテーション病院 1階 —— Lunch & Cafe



メニユ一例

モーニング セット
am7:00～am11:00



— A セット

◎週替わりランチは
am11:00～pm2:00



ハンバーグラッチ

その他
軽食・ドリンクメニュー
多数ございます。

お得なコーヒーチケット（11 枚つづり）販売しております
お気軽にスタッフまでおたすください

平成29年度
医療法人藤井会
入社式

『愛情・信頼・奉仕』
の実践へ

法人本部 広報課



藤井 弘史 副理事長



山本 久美夫 病院長



田中 行正 病院長



新入職員代表「誓いの言葉」



《記念講演会》サクセスインサイド・コミュニケーション
西田 淑子 様

例年より遅く桜の便りが届きはじめた4月1日、平成29年度医療法人藤井会入社式が石切生喜病院大会議室において執り行われ、希望に胸を膨らませた今年度の新入職員総勢80名が出席しました。

冒頭に藤井弘史副理事長、続いて石切生喜病院・山本久美夫病院長、大東中央病院・田中行正病院長から歓迎と激励の言葉が贈られました。

新入職員にとっては、藤井会の理念である「愛情・信頼・奉仕」の精神を初めて聞く場となり、今後の職務への決意を新たにしました。

そのあと、新入職員代表が「誓いの言葉」を述べ、80名全員が藤井会の職員としての第一歩を踏み出しました。

入社式の後、サクセスインサイド・コミュニケーションの西田淑子先生を講師にお迎えし、記念講演会が開催されました。

コミュニケーションの考え方や方法などについて、新社会人にも分かりやすい内容でお話を頂き、新入職員からも積極的な質問が出るなど、非常に有意義な時間となりました。

なお、入社式に先立ち、3月28日、29日には、社会人としての心構えや服務規律などを主な内容としたオリエンテーションが行われた他、30日、31日の両日にはそれぞれの配属部署での研修が実施されました。



オリエンテーション

1人ひとりに生きる喜びを 香芝生喜病院 誕生。

合言葉は、「愛情・信頼・奉仕」。「地域に根差した医療」。

“香芝生喜病院丸”は平成29年4月1日、臼井病院長のもと総勢330名の職員とともに船出をしました。



“香芝生喜病院丸” 三隻目の舵取り

香芝生喜病院 病院長 臼井 典彦

香芝生喜病院の開院、身も心も引き締まる思いであります。

素晴らしい施設と職員に恵まれ、私は幸せであります。

思い返せば、4年前の奈良県庁でのプレゼンテーション、そして理事長から“おまはん、頼むぜ・・・？”の一言から始まった大きな旅であったような気がしております。

医師人生40数年、三隻目の舵取りですが、『愛情・信頼・奉仕』の法人理念を堅守しつつ、細やかではありますが、奈良の地で、“ピ

カッと光る医療の提供”を通じて地域の皆様と共に歩んで行こうと念じております。

今、大海原に向かって出港する準備は出来ました。しかし、その航路には政治・医療・経済情勢、医師不足など厳しい環境が想像されます。

どうか皆様方におかれましては、『香芝生喜病院丸』を温かく見守って頂き、ご指導願えれば幸いです。

何卒、宜しくお願い申し上げます。



生まれ育った地域への恩返しを！ 香芝生喜病院 事務長 玉垣 精久

香芝生喜病院が開院いたしました。思い返せば平成25年後半に本部長より「香芝市は家の近く？」との言葉で新病院開院に向けた業務を担当し、あっという間に過ぎた3年

余りでした。

私は地元で生まれ育ち、4年前まで居住しておりました。香芝市にも沢山の友人がいます。ですから中和地域の様々な状況や中和医療圏西部

地域の医療事情は分かっているつもりです。

こんな私も50歳を過ぎ、地域の皆様に医療を通して何か恩返しが出来ればと考えております。



所属長 ご挨拶

看護部

看護部長
今井 緑

看護部では「何事にも明るく、前向きに行動する」をモットーに地域みなさまに信頼され愛される組織づくりを目指しています。中央部門4部署、病棟部門5部署からなる組織ですが、初年度は「安全第一の看護を提供する」「地域で信頼される接遇を行う」を目標に掲げ、職員全員で取り組んでいく所存です。

医療安全管理室には認定看護管理者を専従配置し、認定看護師は3名を採用して看護の質の向上に努めてまいります。また看護師を地域医療連携室に配置し、在宅支援に力をいれたいと考えております。

「香芝生喜病院に来てよかった」と思っただけのように職員全員でがんばります。よろしくお願いいたします。

放射線検査室

技師長
村谷 弘一

この度、施設間異動にて香芝生喜病院放射線検査室を任せていただくこととなりました村谷と申します。320列CT、1.5テスラMRI装置等、様々な医療機器を駆使して質の高い画像を提供し、地域医療に貢献できるように頑張っていきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

薬剤室

室長
奥村 仁美

はじめまして、香芝生喜病院薬剤室室長の奥村仁美と申します。中和医療圏を中心に地域の皆様の信頼を獲得すべく薬剤室スタッフ一丸で医薬品の適正使用を推進し、安全かつ適切な薬物療法が行われるよう、知識・技術の向上に努めていきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。

臨床検査室

技師長
長 富士枝

臨床検査室技師長の長 富士枝と申します。患者様を中心に各部署と協力しながら信頼される検査室、あたたかい検査室、救急医療にも対応した検査室を目指して頑張っており、どうぞよろしくお願いいたします。

リハビリテーション室

室長
望月 弘己

知識技術の研鑽はもちろんですが、元気で明るく活気のある職場にし、地域みなさまが安心してリハビリが受けられる様、がんばります。



※イメージ

臨床工学室

技士長
北井 秀和

臨床工学技士とは、生命維持管理装置の専門技術者のことです。透析室において安全性の高い透析医療の提供に努めたいと考えております。また、院内機器を日々メンテナンスし、精度の高い医療機器を提供する事で安全を届けたいと思います。

香芝生喜病院附属すみれ保育園

園長代行
玉垣 友子

にこにこ保育園で長年保育に従事してきました。保護者の方々が安心してできる保育の提供、お子様たちが元気で伸び伸び生活できるよう「愛情いっぱい」保育を行ってまいりたいと思います。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室

室長
石井 秀一

北葛城地区・香芝市内を中心に診療所や病院、近隣施設の皆様と顔の見える連携、そして奈良県救急本部との病院窓口として、香芝生喜病院のスタートダッシュは、地域医療連携室が重要な役割を担っていると自覚して、スタッフ6名一致団結で頑張ります。

資材課

課長補佐
梶本 浩史

私は、藤井会に医事課として入職後、「資材課」に配属されて以来、一貫して資材畑を歩んで参りました。積み重ねてきた経験を活かして、香芝生喜病院の発注・納品・在庫管理業務に奔走して参ります。今後とも、ご指導・ご支援を賜りますようお願い致します。

医事課

医事課長
稲葉 昌行

平成29年1月16日より、香芝生喜病院医事課長を拝命しました稲葉でございます。今年、藤井会34年目となり多くの施設や医事課・総務課業務に携わってきました。その経験を生かして、「迅速に行動」「誠意に対応」「正確に処理」この三つを心掛け、医事課の管理業務を行って参ります。

今回『受付係』という医事課とは切り離れた部署の管理も任されました。総合案内より始まり、受付業務また病院施設内の案内業務等、患者様が気持ちよく利用できるよう配置しております。医事課・受付係、2部署の管理者としての重責を果たすため、一生懸命に頑張る所存でございます。何卒宜しくお願い致します。

システム管理課

副主任
青海 正典

皆様初めまして。システム管理課の青海と申します。システム管理課では、病院内にあるパソコンやプリンタなど、全てのIT機器を管理しています。香芝生喜病院では、医事・会計を行うシステムや、撮影した画像を閲覧するシステムなど、医療に関わる最新のシステムが多数導入されています。それらのシステムが止まらないようメンテナンスを行い、縁の下から医療の現場を支えていけるよう日々努力しています。



※イメージ



ロビー

● 定礎式・竣工式・内覧会 ●

平成29年3月25日（土曜日）、定礎式・竣工式および内覧会をご来賓、地元自治会、行政関係者様など約400名のご臨席を賜り盛大に開催しました。

まず、竣工式に先立ち午前10時より藤井弘一理事長、藤井弘史副理事長、臼井典彦病院長の立ち合いのもと定礎式が行われました。

その後、午前11時より病院正面玄関で、奈良県知事 荒井正吾様、総務大臣 高市早苗様、香芝市長 吉田弘明様、奈良県議会議員 奥山博康様などによるテープカットが行われました。

竣工式では、藤井弘史副理事長が「真心のこもった医療で地域に貢献したい」と挨拶をされ、続いて荒井知事、高市大臣、吉田市長、奥山県議会議員からも、香芝生喜病院に対する期待を含めた温かいご祝辞を頂戴しました。

式典の最後には臼井病院長より香芝生喜病院の設計・施工に多大なご貢献を頂きました株式会社久米設計様、村本建設様に感謝状を贈呈しました。

式典に引き続き5階大講堂での懇親会では、大阪市立大学医学部附属病院長、平川弘聖先生のご祝辞と乾杯挨拶の後、和やかに会が進められご来賓の皆さま方に真新しい病院を一部ではございますが、ご見学頂きました。

● 開院祝賀パーティー ●

香芝生喜病院開院祝賀パーティーが、18時30分よりシェラトン都ホテル大阪において香芝生喜病院職員をはじめ藤井会各施設からも多数出席し開催をしました。

理事長挨拶の後、病院長挨拶、職員紹介などがあり和やかな雰囲気の中、職員同士はもちろん、香芝生喜病院が新たに仲間に加わり藤井会各施設相互間での情報交換が活発に行われました。

中締め挨拶では藤井弘史副理事長から「藤井会のベテラン職員も新たに入職された職員もない。一致団結して新しい香芝生喜病院を築いて欲しい」と職員を激励し、盛況のうちに終了しました。



開院祝賀パーティー風景



職員紹介

新聞に掲載されました！

2017年3月24日（金曜日）
建設通信新聞



2017年3月31日（金曜日）
奈良日日新聞



北河内藤井病院

北河内藤井病院 病院長 川口 雄才



平成29年4月より、病院長に就任する事になりました川口と申します。

私は外科医として35年の間、手術や癌化学療法に従事して来ましたが、その傍ら代替療法など西洋医学以外の様々な治療にも興味を持って勉強させて頂きました。

そのような事から今後は、消化器疾患を中心に上部・下部の内視鏡や手術などを始め、代替療法などを取り入れた治療も行い、地域の皆様に一つでも貢献できればと考えて居ります。

また、これから益々高齢化社会が進み、ご高齢者の疾患に対しては健康寿命を考えた治療が求められます。そこで、ご高齢者の病状を踏まえて満足して頂ける治療を提供するためにも、病院間だけでなく施設や在宅などとも連携を図りながら、ご高齢者のQOLを高める最適な治療を施して参りたいと思っております。

そして地域医療を推進するに当たり、手術や薬など物質的な医療だけでなく、精神的にも患者様のサポートが出来れば

と考えて居ります。そのためにも、藤井会の理念であります

「愛情・信頼・奉仕」の三つの言葉を、日常の医療に反映して参りたい所存です。

つまり、マザー・テレサが「愛の反対は無関心」と言われています様に、患者様に対して常に関心を持ち、患者様の話に耳を傾けながら理解を深め、患者様と信頼関係を築くために真心で接し、更に、お釈迦さんの教えであります眼施（優しい眼差し）、和顔施（笑顔）、言辞施（優しい言葉）、身施（お手伝い）、心施（思いやり）などの奉仕を鏡として、患者様に寄り添った医療を心掛けて参りたい意向です。

当院は開院して丸3年経ちました。まだまだ未熟なところも多々あるかと思いますが、職員一同、何事に対しても一期一会で今を切にしながら医療に従事して参りますので、これからも何卒宜しくお願い申し上げます。

みくりや診療所

みくりや診療所 院長 福井 寛也



私はこの5年間、病院の立て直しや、病院の立ち上げの仕事をしてきました。今回で4度目の引越を経験し、今、やっとみくりや診療所にたどりついたところです。今日が就任3日目です。

みくりや診療所は藤井外科について2番目に古い藤井会の診療施設で、理事長のお父さんがこの地で本屋さんをされていた地に建てられたと聞いております。しばらく常勤医師がいなく、日々、診療医師が変わり、患者数、収益も最近やや減少していると聞いていました。

どんなに暇かと思いきや、いざ、診療を始めると予想に反して、休憩する暇がないほど患者様がたくさん来られまし

た。いままで理事長や各先生方が、このみくりや診療所を地域に根差した診療所に育ててきたからだと思いました。職員の皆さんも患者様に温かく、優しく応対して良い診療所だと感じました。

ここにきても私の仕事は変わりません。今までしてきたことをするだけです。丁寧に、嘘をつかず、患者様の側に立って診療を行うだけです。

藤井会の他施設との連携をとりつつ、よりいっそう地域の皆さんに信頼され、可愛がっていただける、また、地域の皆さんの役に立てる温かい診療所にしていきたいと思っております。



※イメージ

藤井会訪問看護ステーション ～2周年を迎えて～

藤井会訪問看護ステーション 所長 津野 美千子

こんにちは!藤井会訪問看護ステーションです。すっかり春らしい暖かい季節となりました。

私たちの訪問看護ステーションが開設されて、2周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様のご愛顧のおかげと、スタッフ一同感謝の気持ちで一杯です。

に、病院と緊密に連携をとりながら活動しています。

がん疼痛認定看護師や慢性心不全認定看護師等、院内で活躍している認定看護師とも情報の共有を図り、安心して在宅生活を送れるように法人全体で支援しております。

訪問看護だけではなく訪問リハビリにも力を入れております。障害を持つでの日常生活の場面では、できない事が多くなり、徐々に気力が低下していき、身体の機能が衰え、そして寝たきりへと悪循環に陥るケースが少なくありません。

在宅ケアにおいて心身の機能が維持または向上、療養者様のできることを増やしてゆき、気力が維持できる、そのようなリハビリを目標に日々研鑽しております。

3月から精神科訪問看護も始め、さらに精神面でのサポートができればと考えております。

これからも、一人一人の思いに寄り添いながら、真心のある温かい看護を届けてゆきたいと思います。



在宅で療養する人は年々増えており、医療ニーズも高まり、多様化しています。病気や障害を抱えられても、在宅で生活を送りたいと願う方々が、地域にはたくさんおられます。

医療法人の訪問看護ということもあり、母体である石切生喜病院のバックアップを受け、退院後の不安を少しでも和らげるため

今年1月より、香芝生喜病院に異動し、4月スタートにむけ準備してきました。最初は、ほとんど何も物品機器がない状態でした。自宅に帰るまでの動作の練習として、浴室や畳の和室や台所などの設備が充実しています。自宅復帰がスムーズに進み、安心して生活が送れるよう、少しでもお役に立てればと考えております。

左上の写真は、なにもリハビリ機器が入っていない状態。左下は機器搬入後の状態です。とても広く、床はフローリングです。

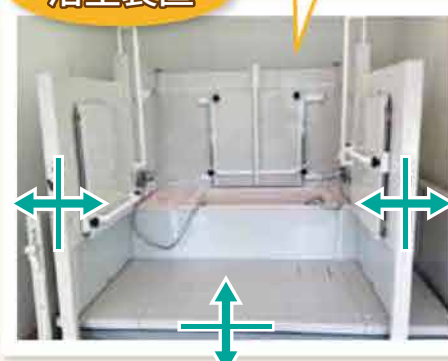
浴室装置です。床の高さと壁の幅を変えることができます。手すりの位置など実際に使用してみて使い勝手をためすことができます。浴槽をまたぐ動作の練習なども行います。リフォームするためのシミュレーションも可能です。しかし、実際に入浴することはできません。

4畳半の和室です。入院生活では洋式の生活ですが、家に帰ると靴を脱ぎ、和室の生活をするようになります。ここで練習し、自宅復帰をめざします。

和室



浴室装置



キッチン



キッチンも台と棚の高さをボタン一つで変えることができます。実際に料理をすることも可能です。自宅のキッチンの高さに合わせたりできます。



理学療法士7名、作業療法士1名の計8名でスタートします。開設という初めての経験なので、期待と不安で胸が一杯です。木目調で明るく、窓からの景色もよく、やさしい雰囲気のリハビリテーション室です。地域の皆様が安心してリハビリを受けることができ、また十分なリハビリサービスを提供できるようみんなで力を合わせてがんばります。スタッフにとっても、働きたくなるような雰囲気づくりなど大切にしていきたいと考えております。

THE☆がんサポート講座に

石切生喜病院医師 2 名が講演

法人本部 広報課

平成29年 1 月28日(土曜日)大阪商業大学ユニバーシティホール 蒼天において、中河内がん診療ネットワーク協議会(市立東大阪医療センター、八尾市立病院、八尾徳洲会総合病院、若草第一病院、石切生喜病院、市立柏原病院、東大阪市、八尾市、柏原市、布施医師会、河内医師会、枚岡医師会、八尾市医師会、柏原市医師会、東大阪市保健所、大阪府八尾保健所)主催「THE☆がんサポート講座～がん検診から就労・緩和まで～」が行われ、「がんにならない」「がんに負けない」「がんと共に生きる」の3つの大きなテーマのもと7つもの演目が用意され、石切生喜病院からも呼吸器外科部長・西田達医師と、乳腺頭頸部外科部長・川尻成美医師が講演を行いました。

講演 ①

「がん検診の大切さ ～市町村での 取組みについて～」
柏原市健康福祉課健康増進係長 高野 誠子 様

講演 ②

「まさか自分が」
市立東大阪医療センター 消化器外科 主任部長
池永 雅一 先生

講演 ③

「身体に優しい治療と診断 ―肺がん編―」
石切生喜病院 呼吸器外科部長 西田 達 先生

講演 ④

「がん相談支援センターの役割」
市立東大阪医療センター がん相談支援センター
東野 里美様

講演 ⑤

「がん患者に対する就労支援について」
ハローワーク布施 統括職業指導官 高山 益美 様

開会挨拶



市立東大阪医療センター
院長 辻井 正彦 先生

開会挨拶



開会挨拶
東大阪市長 野田 義和 様

講演 ①



柏原市健康福祉課
健康増進係長 高野 誠子 様

講演 ②



市立東大阪医療センター
消化器外科主任部長
池永 雅一 先生

講演 ③



石切生喜病院
呼吸器外科部長
西田 達 先生

講演 ④



市立東大阪医療センター
がん相談支援センター
東野 里美 様

講演 ⑤



ハローワーク布施
統括職業指導官
高山 益美 様

講演 ⑥



石切生喜病院
乳腺頭頸部外科部長
川尻 成美 先生

司会



市立東大阪医療センター
消化器外科 主任部長
池永 雅一 先生

開会挨拶



八尾市立病院
総長 佐々木 洋 先生

講演 ⑥

「乳がんのお話」
石切生喜病院 乳腺頭頸部外科部長 川尻 成美 先生

講演 ⑦

がん患者・家族を支援する会・かわち様より、「ご代表」、「患者様の立場から」、「家族様の立場から」と3名の方よりご発表がありました。

講演のほかにも、石切生喜病院からブースを設け、がん性疼痛看護認定看護師、がん相談支援担当看護師、検診部門担当者が対応しました。

第2回 ～透析医療を考える会～ 開催

法人本部 広報課

医療法人藤井会では2月4日(土)スイスホテル南海大阪8階「浪華」におきまして、第2回 医療連携フォーラム～透析医療を考える会～を開催いたしました。130名を超える先生方にご参加を頂き、講演内容の関心の高さが窺われました。

開会の辞

医療法人藤井会 本部医務統括部長 白井 典彦 先生

一般講演 1

座長：住道クリニック 院長 佐井 吉永 先生

住道クリニック 管理栄養士 畔上 多恵子さんによる

題目：「当院における栄養管理」を講演頂きました。

一般講演 2

石切生喜病院 腎臓内科 立石 悠 先生による

治療目的を意識した慢性腎不全診療の提案 ～CKD-MBD,RASを中心に～
を講演頂きました。

特別講演

座長：本部医務統括部長 白井 典彦 先生

大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学教授
稲葉 雅章 先生による

題目：心疾患障害・CKD・サルコペニア・メタボ予防に向けて

ー添加無機リン・カルシウム・果糖ブドウ糖液・糖質制限食を中心にー
を具体的な食品名をあげながら、具体的に分かりやすくご講演頂きました。

講演会終了後、意見交換会・情報交換会を開催し盛況裏に閉会いたしました。



開会の辞
本部医務統括部長
白井 典彦 先生



《一般講演1》座長
住道クリニック
院長 佐井 吉永 先生



《一般講演1》
住道クリニック 管理栄養士
畔上 多恵子さん



《一般講演2》
石切生喜病院 腎臓内科
立石 悠 先生



《特別講演》座長
本部医務統括部長
白井 典彦 先生



《特別講演》
大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分泌病態内科学教授
稲葉 雅章 先生

平成28年12月11日(日曜日)、奈良県生駒市松美台東自治会主催の出張講座を松美台東自治会館におきまして開催しました。

師走のお忙しい中、また日曜日の朝よりたくさんの方にお集まり頂きました。

今回の講座は、石切生喜病院 循環器内科医師と乳腺頭頸部外科医師での2部構成となりました。



松尾 浩志 医師

1部は循環器内科 副部長 松尾 浩志 医師が、下肢閉塞性動脈硬化症について「脚の痛み」に潜んでいる疾患について解説しました。



松美台東自治会館



川尻 成美 医師

2部では乳腺頭頸部外科 部長 川尻 成美 医師が「乳がん」について検診の重要性と、診断方法やもし乳がんになった場合の様々な治療方法を解説しました。



中石切町老人クラブ集会所

かり易く解説しました。

会場の中石切町老人クラブ集会所が満員となり講演後の質疑応答でも数多くのご質問があるなど予定時間をオーバーし、約1時間半に渡る講演会はあっという間に盛況裏に閉会致しました。

開催にあたりご協力いただきました石切校区福祉委員会および五条老人センターの皆様この場をお借りして御礼申し上げます。



西田 達 医師



永田 崇 医師



平成29年3月21日(火曜日)、東大阪市石切校区福祉委員会様の主催にて石切生喜病院 呼吸外科医と脳神経外科医による出張講座を開催いたしました。

今回は石切生喜病院 呼吸器外科 西田 達 医師が「身体に優しい肺がん治療」、脳神経外科 永田 崇 医師が「脳卒中の治療と予防」について分



2017年 大阪府下救急医療施設 新年会について

石切生喜病院 救急センター長 秋月 克彦

平成29年1月20日(金)午後7時よりホテル阪神にて『2017年 大阪府下救急医療施設新年会』が開催されました。

今回は当院が幹事を担当し、大阪府下の救急病院25施設、総勢66名が集まりました。

立食による歓談が和やかに進む中、各施設の近況報告や病院のPRが順番に行われ、有意義な情報交換の場となりました。

二次・三次救急病院として、また広域災害時

には地域災害基幹病院・災害協力病院として、相互に連携する医療機関の救急医療に携わる医師同士が正に“顔の見える”交流の場にできたと感じております。

今後も、当院は大阪府下の救急医療施設と連携しつつ、東大阪の地域医療により一層貢献してまいります。



地元企業へ 産業医による腰痛予防体操を実施

石切生喜病院 健診課 主任 岡村 亮

平成29年2月24日、石切生喜病院 秋月克彦医師が当院と産業医契約をしている日本特殊形鋼株式会社様(東大阪市水走)へ月1度の安全衛生委員会の一環として貴社委員会メンバーの方々へ「腰痛体操」を紹介しました。

当院の理学療法士がオリジナル動画を作成し、それをもとに貴社委員会メンバーの方々に実際に体操をして頂きました。

主に反り腰が原因で生じる腰痛に用いる体操(腹筋の強化・骨盤傾斜運動・胸に両膝を近づける運動など)を約20分間行ないました。

メンバーの方々からは「日ごろの運動不足を実感した」や「使っていない筋肉を延ばすことができ身体が軽くなった」などの声が聴こえました。

また、体操終了後には「腰痛の種類」や「病院で診てもらわなければならない腰痛の症状」の紹介をし職場で出来る腰痛体操(ストレッチ)のオリジナル冊子を配布しました。



私たちこんな仕事をしています

医師支援課

大東中央病院 事務部門 医師支援課 川野 亜紀子

私たち医師支援課は、一般に医療事務と呼ばれる業務内容とは全く異なり、受付・会計・診療報酬請求などの業務は行わない職種で、「医師事務作業補助者」と呼ばれる業務を現在6名で行っています。

「医師事務作業補助者」と聞くだけではあまり聞きなじみがないかもしれませんが、ひと言で要約すると、医師が行う業務のうち事務的な仕事のサポートを医師の指示の下に専従して行う職種です。

多忙な医師をサポート

医師の日々の業務は、外来・入院患者様の診察をはじめ、検査指示・薬の処方や手術などの治療・病状説明などの医療行為はもちろん、その他にカルテ記載・診断書等の書類作成・紹介状や紹介元への報告書作成など事務的な仕事も含め、ものすごい量の業務をかかえています。各病院によって業務内容のばらつきは多少ありますが、当院では外来診察室で医師の隣に同席し、医師の指示・確認のもとお薬や注射、画像検査、次回の診察予約などのオーダーを代行入力しています。



※イメージ



※イメージ

医学的知識は必須

また、書類といっても様々な種類の書類があり、例えば入・通院証明や手術証明を始め介護保険主治医意見書等、まずは各書類を文書作成ソフトにて私どもで仮作成し、医師に依頼して記入してもらっています。仮作成することにより、以前より書類を書く手間が格段に減って助かっているという声も医師より聞け、私どもの日々の業務の励みにもなっています。

その他、学会等に関わる症例登録のリストアップやデータ収集・手術DVDの管理業務も行っており、微力ながら医師の研究会へのサポートをさせていただいています。

そして、院外研修への参加も積極的に行い、部署内でも勉強会を行っており知識向上のための努力を日々忘れずに行っています。

今後も医師が患者様と接する時間がさらに増え、より治療に専念できるように医師支援課としてさらに医学的知識を身につけ、医師の事務的な仕事の軽減につながるよう邁進したいと思っています。

薬局通信 47

石切生喜病院 薬剤室 野口 善久

「がん薬物療法認定薬剤師」研修報告

薬剤師には専門分野別の認定制度があり、その中の一つにがん薬物療法認定薬剤師という認定があります。

がん薬物療法認定薬剤師とは、がん領域における薬物療法等について十分な知識と技術を有し、医療機関において質の高い業務を実践できる薬剤師を指します。認定を取得するにあたり、指定された研修施設で3ヵ月間実務研修を行う必要があります。さらに講習会、症例報告、認定試験を全てクリアしなければならず、ハードルが高く設定されています。

平成28年9月より、がん薬物療法認定薬剤師を取得するため3ヵ月間にわたって大阪医科大学付属病院へ研修に出させていただきました。今回はその研修についての報告をさせていただきます。

大阪医科大学付属病院にて実務研修

研修を受け入れていただいた大阪医科大学付属病院は高槻市にあり、阪急高槻市駅のすぐそばにあります。

研修期間中は毎朝の外来化学療法センターでのカンファレンスへの参加、外来で化学療法を



左から
関西電力病院 薬剤部 黒岩勇人先生
大阪医科大学付属病院 後藤愛実先生
野口

受けられる患者さまへの薬剤管理指導業務、週1回がんセンターで行われるミーティングへの参加、病棟での化学療法センターや緩和ケアセンターの回診への同行、がん領域に関



研修を行った外来化学療法センター

する様々な講義、この他にも書ききれないくらい様々な経験をさせていただき、非常に勉強になる一方で自分の知識・経験・能力の無さを痛感しました。

研修を終えて

がん薬物療法についての知識が深まったのはもちろんですが、薬物療法に対しての考え方が大きく変わったのを実感できました。具体的には今まではこの治療法はこのがんに効くという考え方だけでしたが、研修を終えてからはこの治療法は既存の治療法と比べてどの程度生存期間や再発期間を延ばせるか、どういう患者さまにどの程度有効かといった考え方に変わり、臨床試験データや論文の重要性を認識しました。

3ヵ月間ご指導していただいた大阪医科大学付属病院 薬剤部 後藤愛実先生をはじめ、化学療法センターの先生方、薬剤部の先生方、また共に研修を受けられた関西電力病院 薬剤部 黒岩勇人先生には大変お世話になりました。

今回学ばせていただいたことを当院で十分に発揮できるよう精進し、認定取得を目指していきたいと思っています。

食べなきゃ
もったいない

旬の食材

春キャベツ



大東中央病院 栄養管理室 主任 弓場 昌美

旬の食材は、おいしさと栄養がいっぱいで経済的。
春キャベツは、3月～5月中旬ごろが旬。葉が柔らかくて甘みが強いのが特徴。

料理

ビタミンは水に溶けやすく熱に弱いので生食が効果的。
サラダや浅漬けなどがおすすめ。
加熱するときはスープなどにして汁ごと食べるとよい。

選ぶときのポイント

緑が濃くつやと張りがあり、
葉の巻きがゆるいものがおすすめ。

春キャベツの パワー

- ビタミンU …… 胃や十二指腸の炎症や潰瘍を予防・改善する。
肝臓の解毒作用を助ける。
- ビタミンK …… 特に胃潰瘍や胃痛にはキャベツのしぼり汁が有効。
- ビタミンC …… 免疫力を高め、風邪を予防する。
美肌・疲労回復効果。がん抑制効果。
外側の葉や芯の周辺に特に多く含まれている。

春キャベツの塩昆布ごま油あえ

《材料2人分》

- 春キャベツ …… 1/4 個
(約 200 g)
- 塩昆布 …… 大さじ 2
- ごま油 …… 大さじ 1

《栄養成分1人当り》

- エネルギー … 80.8 kcal
- たんぱく質 …… 2.2 g
- 脂質 …… 6.1 g
- 食塩相当量 …… 0.9 g

《作り方》

- ①キャベツは水洗いし、一口大にザク切りにする。
- ②生のキャベツに塩昆布を加え、ごま油を回しかける。
- ③塩昆布とごま油が全体に均一になじむように混ぜ合わせ、10～15分置いて、キャベツがしんなりして透明感がでてきたら食べ頃。

石切生喜病院 ロビーコンサート開催

法人本部 広報課

平成28年12月19日（月曜日） ロビーコンサートを石切生喜病院6病棟1階ロビーにて開催しました。

今回は谷田奈央さん（メゾソプラノ歌手）、井上望美さん（ヴァイオリン）、西村遥子さん（ピアノ）によるトリオコンサートです。会場には石切生喜病院の患者様

だけでなく、院外からも多くの方が来られていました。みなさんもよく知っている ♪見上げてごらん夜の星を ♪NHK朝ドラ「あさが来た」主題歌 365日の紙飛行機 ♪NHK大河ドラマ「真田丸」メインテーマ曲 ♪クリスマスソングメドレー ♪オペラ、クラシックなどの名曲を披露して頂きました。

谷田さんの声量、ヴァイオリン、ピアノの生演奏すばらしかったですね。最初から最後まであっという間の、とても楽しいロビーコンサートになりました。



季節を感じるイベント in 藤井会リハビリテーション病院

藤井会リハビリテーション病院 介護福祉士 主任 石黒 利枝

藤井会リハビリテーション病院では、日々リハビリテーションに取り組む患者様に気分転換と季節を感じて頂くために七夕会、クリスマス会を企画しています。12月に行いましたクリスマス会の様子をご紹介します。今年も多くの患者様が参加されました。

各階、スタッフによるハンドベル、楽器演奏からクリスマス会がスタートしました。参加するスタッフと勤務があわず、練習する時間は少なかったですが、無事に終えることができました。

そのあと、合唱や、体操、チーム対抗の「後出しジャンケンゲーム」を行い、患者様とスタッフが一緒になり、楽しむことができました。準備は大変でしたが、終わってから、「楽しかった」「よかった」と患者様から言葉を頂き、私達もうれしくなりました。

次は7月に七夕会を開催します。患者様に楽しんで頂ける様、頑張ります!!



卒園式

● にこにこ保育園 保育士 菱川 ひろみ

3月9日、暖かな日差しに春の訪れを感じる季節となったこの日、平成28年度医療法人藤井会にこにこ保育園の卒園式が執り行われました。思い出のアルバムの曲が流れると少し緊張した表情の子どもたちが入場し卒園式が始まりました。今日の日を楽しみにしながら練習してきた成果もあり、恥ずかしいながらも堂々とした姿が見られました。普段のかわいらしい表情とはまた違い、たくましく育った子どもたちを見ていると入園当初の事が昨日のように思い出されました。

～思い出、卒園証書授与～



今年は例年と違い、一人ひとりの写真を貼り替えながらみんなで思い出話を花を咲かせました。名前を呼ばれると、にこにこ笑顔で前に出てきて椅子に座り先生

に楽しかった思い出をインタビューしてもらいました。遠足に行ったことや大好きな玩具で遊んだことをいきいきと話す卒園児…それに共感するお友達。ほんわかとした雰囲気の中みんなの前で嬉しそうに話す姿はとてもちょうどよくたのしく感じられました。

宮下園長先生からのお祝いの言葉は園児一人ひとりに思いの込められた心温まるメッセージでした。最後には何事もあきらめないうまい優しい子どもたちでいて欲しいという願いを伝えられました。

～お別れの歌を大合唱～



最後は舞台の上で大好きな歌「たいせつなともだち」を一生懸命歌いました。大きな口を開けて真剣に歌う姿に感動し、

今までの楽しかった日々を思い出し、胸が熱くなりました。

～お楽しみのお別れクッキング～



緊張した卒園式が終わった後は、ドキドキワクワクのクッキングの始まりです。エプロンと三角巾をつけるとコックさんに変身!生地をこねてハートやお花のクッキーを作りました。焼きあがるとクッキーの中央のキャンディーのところがいけだといきいきと喜んだり、一口食べておいし〜と大満足の子もたくさんでした。卒園式の大切な思い出…いつまでも忘れないでいて欲しいです。

クリスマス会

● にこにこ保育園 保育士 藤原 瞳



12月21日、子ども達が待ちに待ったクリスマス会が行われました。前日に手作りの靴下をお部屋の中に飾り、クリスマスツリーに乳児クラスは雪だるまとベル、幼児クラス

は、オーナメントの手作りの飾りをワクワク、ドキドキしながら飾り、当日を迎えました。いつもとは違う雰囲気子ども達は少し緊張気味。そして、どこからか

聞こえてくる鈴の音と共にサンタさんが登場すると、子ども達は「わぁ!サンタさんだぁ!」と呼び大喜びでした。

乳児クラスの歌では、毎日朝の会で歌い少しずつ手あそびを楽しむ姿が見られるようになり、「アンパンマン!!!」とリクエストがでるほど大好きな曲になりました。当日は、サンタさんを目の前にして緊張で泣いてしまう子どももいましたが、最後まで自分の椅子に

座って歌うことができました。幼児クラスの合奏・歌では、始めは楽器を手に持たなかった子ども達が練習を重ねることで、自分の担当の楽器が好きになり、遊びの中でもお友達と練習をし、頑張りました。本番では、練習よりも大きな声で歌を歌い、今までで一番の歌となりました。

サンタさんへの質問コーナーでは、子ども達がサンタさんに「どこからきましたか?」「好きな食べ物は何か?」など質問をし、目をキラキラ輝かせてサンタさんとお話をし、笑顔が溢れていました。



最後に、まちにまったサンタさんからのプレゼントです。子ども



達が作った靴下に、プレゼントが入っていて子ども達は大興奮。「サンタさんありがとう!!」と言って大事そうにプレゼントを抱え、サンタさんとハイタッチ!!

そして、クリスマス会の日給食も特別メニュー。全クラスで子ども達が好きな食べ物が入ったオードブルをクリスマスのBGMを流しながら楽しい雰囲気の中食べました。とってもアットホームなクリスマス会になりました。

法人本部 広報課

恒例 石切生喜病院

真冬の献血!



例年通り、真冬の献血デーがやってきました。2月14日(火曜日)の朝10時、第6病棟玄関脇に大阪府赤十字センターの愛の献血車が到着。みぞれまじりの雨の中、ボランティア精神を発揮して多くの方に献血にお越し頂きました。

入院患者様のお見舞いの方でしょうか?近隣にお住まいの方でしょうか?一般の方も献血にご協力いただきありがとうございます。また、納入業者様にもご協力いただきました。



石切生喜病院では、年に2回(夏と冬)に献血車が来院します。今後とも、ご協力頂きます様お願い致します。

編集後記

私の勤めるみくりや診療所の立つ地域、みくりやを漢字では御厨と書きます。意味は神饌を調進する場所つまり神様の台所だそうです。元々は有力な神社の荘園の名が地名や名字として残りました。鎌倉時代には五百余箇所ほどあったそうです。現在でも栃木県足利市や静岡県御殿場市・磐田市・長崎県松浦市にも御厨の地名がのこっています。

4月に開院した香芝生喜病院の立地する地域は穴虫という地名です。「穴に伏すような低地」の意味から訛化した名称だそうです。古代大坂山(二上山北麓一帯の山地)の麓に位置する小さな農村であった場所柄からの地名と考えられます。またこの一帯は大坂とも呼ばれていました。大坂山口神社という神社にその名残があります。古道・大坂道は大和政権から穴虫集落や穴虫峠を経て西日本・アジアに通じる重要な道の一つでした。万葉集にも、大坂を吾が越えければ二上のもみじ葉流る時雨ふりつつ(巻十、一八五)と詠まれています。古代の動脈にあたる街道沿いにある穴虫という地名が地域の人々から信頼される医療を提供する場所として認知されるよう努力してまいります。

みくりや診療所 T



医療法人 藤井会

シンボルの由来

全体のイメージは藤井会のF。愛情・信頼・奉仕を表現しています。

医療法人 藤井会 <http://www.fujiikai.jp/>

石切生喜病院	〒579-8026 東大阪市弥生町18番28号 TEL 072(988)3121 http://www.ishikiriseiki.or.jp
大東中央病院	〒574-0042 大東市大野2丁目1番11号 TEL 072(870)0200 http://daito-central-hp.com/
香芝生喜病院	〒639-0252 奈良県香芝市穴虫3300番地3 TEL 0745(71)3113 http://www.kashibaseiki.fujiikai.jp
北河内藤井病院	〒575-0003 四條畷市岡山東3丁目1番6号 TEL 072(879)5311 http://www.kitakawachi.fujiikai.jp/
藤井会リハビリテーション病院	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 TEL 072(983)7811 http://www.fujiikai-reha.jp
藤井外科	〒579-8004 東大阪市布市町3丁目6番21号 TEL 072(985)3051 http://www.fujiigeka.fujiikai.jp/
深江クリニック (人工透析センター)	〒537-0002 大阪市東成区深江南3丁目22番13号 布施口ビル2階・3階 TEL 06(6977)2955 http://www.fukaeclinic.jp/
みくりや診療所	〒577-0034 東大阪市御厨南2丁目6番3号 TEL 06(6787)2508 http://www.mikuriya.fujiikai.jp/
住道クリニック (人工透析センター)	〒574-0046 大東市赤井1丁目13番1号 ポップタウン住道1番館1階 TEL 072(872)9555 http://www.suminodoclinic.jp/
藤井会新石切デイサービス	〒579-8014 東大阪市中石切町1丁目8番22号 TEL 072(987)5005 http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/
藤井会ケアプランセンター	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 藤井会リハビリテーション病院 1階 TEL 072(983)7806 http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/care/
藤井会訪問看護ステーション	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 藤井会リハビリテーション病院 1階 TEL 072(983)7622

藤井会グループ案内図

